

## 第2回 温泉調査 <永源寺温泉 八風の湯>

活動日 2024年1月16日(火)

参加人数 7名

行程 レイカディア大学→名神高速草津田上IC→八日市IC→八風街道→永源寺→永源寺温泉 八風の湯→道の駅 竜王かがみの里→レイカディア大学

概要 名神八日市ICを降りて八風街道を通る。この街道は八日市から御園、山上、相谷から萱尾を経て九居瀬、黄和田を通り愛知川上流に至り八風峠へ至る。中世、近世にかけての商人の道であった。やがて旦度橋が見え大敬橋を渡り十六羅漢の石仏が並ぶ羅漢坂の120段の石段を登ると永源寺の山門に出る。永源寺は関西有数の紅葉の名所としても知られる臨済宗永源寺派の大本山であるが、今回の訪問時には雪が10cmほど積もっており足元を確かめながらの参拝であった。その永源寺から1km足らずの所に八風の湯があります。神経痛、関節炎、疲労回復、健康増進などの効果があり、やわらかな湯の為小児から高齢者まで幅広い年代の方に安心して入浴してもらえる温泉です。愛知川を見下ろしせせらぎを聞きながら「ぬるめの湯」「熱めの湯」を交互に入ると、人生長生きできそうな気分になりました。

帰路は8号線に入り道の駅「竜王 かがみの里」に立ち寄りしました。この辺りは平安時代末期から鎌倉時代にかけて宿場町として賑わいを見せた場所であり、鏡神社西側の池は源義経が元服の時に使ったとされています。

またこの鏡の里はかつての万葉歌人で美人姉妹であったとされる鏡王女、額田王の出身地であり「美人の里」と言われています。温泉入浴後の程よい睡魔に襲われそうになりかけたころ車はレイカディア大学に無事到着して第二回目の調査を終わりました。

(写真は次頁に掲載)

